



外国人観光客への情報発信が課題

静岡県タクシー協会静岡支部長

加藤高立たかはるさん



乗船客へのニーズ調査

清水港に入港する国内外のクルーズ船は、清水港客船誘致委員会の誘致活動に加えて、富士山の世界文化遺産登録の効果もあり、2014年度は、前年度の2倍となる12隻が寄港し、2015年度も13隻が寄港しました。

乗船客の多くは、あらかじめ船内などで申し込んだバスツアーに参加しているように見えますが、その実態はどうなのでしょう。

旅行会社、静岡大学、通訳案内士会、タクシー会社、タクシー支援サービス会社、経営コンサルタントで組織する「静岡くらしの足研究会」では、乗船客の実態を把握するため、2015年10月26日に寄港した客船「セレブリティ・ミレニアム」の乗船客に800枚のアンケート調査票を配布し、300枚を回収しました。

集計結果を見ると、この船のお客様は北米や欧州の人が多く、ほとんどが2名〜4名のグループで旅行。

箱根へのバスツアーを楽しんだ人が半数で、静岡市内の観光を楽しんだ人は12%。次回、訪れたい場所は、①富士山、②富士五湖、③駿府城跡、④温泉

など。

寄港地の情報は、船の案内デスクとインターネットの検索で入手。

清水港寄港で良かった事は、箱根の素晴らしい景観、静岡市民の対応。困った事は、観光案内が日本語表記で理解できない、滞在時間が少ない、言葉が通じない、団体行動のため、希望する体験ができない、などの回答が寄せられました。

乗船客へのタクシーツアー

研究会では、このアンケート結果を参考に、ジャンボタクシーによる4時間コース（日本平→茶町→浅間神社）と5時間コース（三保松原→いちご狩→日本平）、清庵支部の小型タクシーによる3時間コース（三保松原→日本平→河岸の市）を造成し、2016年3月13日に寄稿した客船「ノティカ」の乗船客に対してPRしたところ、4時間コースに2名、5時間コースに8名、3時間コースに12名の参加がありました。

4月2日寄港の客船「ル・ソレアル」では3時間コースにタクシー10台、4月12日寄港の客船「クリスタル・セレニティ」では、3時間コースにタクシー16台が稼働。

乗船客に対して、いかにインターネットでの情報発信を行うかが、今後の課題です。

お茶のまち静岡市タクシーツアー

「お茶のまち静岡市タクシーツアー」は、「静岡市茶どころ日本一計画」を実現するため、静岡市茶業振興協議会と静岡市タクシー協議会（清庵支部+静岡支部+個人タクシー）がコラボレーションして2013年11月からスタートしました。

静岡市の観光地と、日本平周辺でお茶の説明・試飲・おもてなしをしてくれる茶農家を組み合わせるコースを事前に設定し、国土交通省の認可を得ることで、1時間あたり5980円の運賃を4400円へと安くすることができました。

2日間にわたり座学と現場研修を



「お茶のまち静岡市」ステッカーを車両に貼付



日の出埠頭でタクシーツアーをPR



茶畑をイメージしたラッピングタクシー



日の出埠頭で待機するタクシーとバス

行い、コースを案内できる認定ドライバー40名を養成。静岡県観光協会の東京と名古屋の案内所、静岡市のホテル旅館などでPRして、ツアーを受注。お客様のアンケートを見ると、静岡の人たちとの触れ合いが、お客様の満足度を高めていることが分かります。静岡市のふるさと納税のお礼品にも登録されました。

〈連絡先〉静岡県タクシー協会静岡支部（千代田タクシー株）
TEL054-261-0358 <http://www.shizuoka-taxi.jp>